

リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立鴨居中学校

【取組内容】①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



2年 家庭科

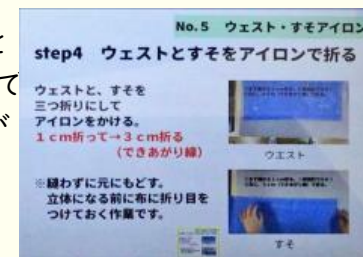
授業

ハーフパンツの製作

目標：生活を豊かにするもの製作を通して、用具の安全な取り扱い方法を理解し、身につける

【自力解決を促すクラウド環境の活用】

1枚のスライドで1工程の説明と対応する動画を確認できることで見通しをもって作業を行うことができ、友達と動画を見て手順を確認し合うなど、自力解決への意欲が生まれた。



担当の先生のコメント

動画や手順の説明資料を準備し、いつでも確認できるようにしたことで、自分で作業を進めることができる生徒が増えた。進捗チェック表で各自の進み具合を共有したことで、作業が遅れている生徒がミシンを優先的に使えるように班で話し合ったりする姿が見られた。

《活動の流れ》

1 学習の流れ提示

製作の流れを確認し、本時に取り組むことを班で確認する

2 ハーフパンツの製作

各自の進度に合わせて、学習支援アプリで共有されている手順やお手本動画を参照しながらハーフパンツのウェストとすそのアイロンがけ、股下のミシン掛けを行う
Google スプレッドシートの進捗チェック表で終わった工程に完了日を入力する

3 片付け

ミシンや材料の片づけを行う



リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立鴨居中学校

【取組内容】①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

1年 保健体育
授業 ソフトボール

目標：みんなが安全に楽しくチャレンジできるソフトボールのゲームリメイク

【付箋アプリを利用した協働的な学び】

付箋アプリを利用してルールを変更したり新たに策定したりするための意見出しを行った。付せんへのコメントをもとにクラスで検討したり投票機能で多数決を行ったり合意形成を行った。



担当の先生のコメント

ルールや技能のポイントについては、モジュールの時間にAIドリルを活用して学習している。イラスト資料や動画等で授業の前にポイントを確認することで、授業に安心して取り組むことができ、意欲が高まっていると考えている。付箋アプリを利用することで自分の考えを仲間に伝わるように表現する支援になったと思う。

《活動の流れ》

1 学習課題の提示

本時の学習の流れを確認する

2 ルールへの意見出し

クラウド上の掲示板アプリを利用してルールについての意見やそれに対するコメントをする

3 チームでの作戦会議

ゲームの後にチームで作成したマングラチャートをもとに振り返りを行う

4 振り返り

学習の記録をGoogleフォームで提出する

5 振り返り

次回の授業でのルールを全体で確認する



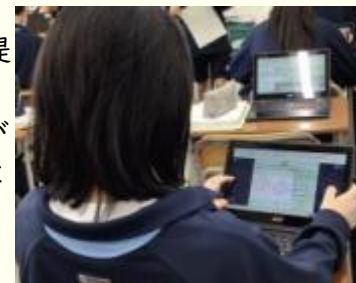
リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立鴨居中学校

【取組内容】①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【他者参照で友達の発見から学ぶ】

クラウド上にヒントを準備したり提出フォルダを共有したりすることで、一人では学習を進めることが難しい生徒にとって、他者参照は自力解決のための手がかりとなっている。



教科担当の先生のコメント

普段から友達の作った問題やまとめを参考にするように意識して声掛けをしている。提出フォルダも共有をかけたままにしておき、テスト前等の学習にも生かせるようにしている。また、生徒から提出されたカードには先生もコメントや評価を返すことで学習意欲を高めている。

2学年 数学
式と計算

授業

目標：オリジナルの数の性質を見つけよう

《授業の流れ》

1 カードにまとめる

オリジナルの数の性質についての説明をまとめ、提出箱に提出する

2 他者参照

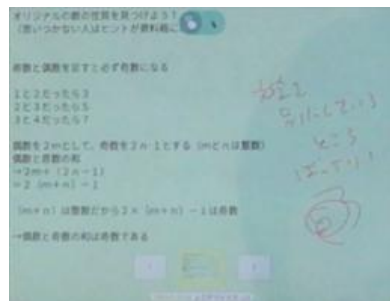
他の生徒の考えや返却された先生からのコメントをもとに、自分の説明を再度まとめ直す

3 まとめたものを全体に共有する

提出したカードを提示して説明する

4 学習を振り返る

学習の過程、形態といった自分の学び方についても振り返る



リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立鴨居中学校

【取組内容】 ②情報活用能力の育成

【各教科における発表する活動の取り組み】

入学当初から教科や行事等でグループでの資料作成や発表を重ねてきた。1年生の頃は資料の見栄えをよくすることに意識が向いていたが、2年生を迎え何を訴えたいのかを意識して作成できるようになってきている。各教科で先生やクラス、学年に向けて発表する機会を作ることで、発表活動だけでなく、テーマ決めや資料集め、スライド作成などの流れを意識して準備ができるようになっていく。自分の進捗が遅れていると感じると家庭で取り組むなど自己調整する姿勢も見られている。

《各教科での発表する学習活動の例》

総合的な学習の時間

校外学習の事後学習で、グループごとに共同編集したスライドを活用して発表した。見学したこと、報告だけでなく、班としての目標に対する取り組みや反省を含めた構成になっており、班で資料作成を行う過程で活動を振り返り評価することができた。

※育成を目指す情報活用能力
活動を振り返り評価できる



英語

AETの先生に日本のおすすめの場所を紹介するプレゼンテーションを行った。自分がおすすめだと思う場所についてインターネット等で情報を収集し魅力が伝わるような資料や原稿を作成し、発表することができた。

※育成を目指す情報活用能力
受け手の状況に合わせて、見やすさを考えて資料を作ることができる



数学

オリジナルの数の性質を見つけて発表する活動を行った。プレゼンテーション形式での発表や説明資料をクラスで見られるフォルダに保存するオンライン発表を行い、自分の考えを式や図、説明文などで表現した。

※育成を目指す情報活用能力
目的や意図に応じて情報をまとめ、複数の表現手段を組み合わせて表現することができる



リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立鴨居中学校

【取組内容】④校務DX（対話的・協働的な教員研修の実施）



【クラウドを活用した対話的・協働的な教員研修】

チームでの協働にクラウドを活用することで、Chromebookを使った活動になじみのない先生も同じチームの先生に聞きながらクラウドを活用する活動に参加することができた。



研修担当の先生のコメント

ICT活用とチームビルディング研修を兼ねているので、できるだけ年齢や性別、教科などが分散するようにチーム分けを工夫した。スライドの内容もチームごとの個性が出て盛り上がった。

研修

チームビルディング研修

目標：組織関係づくり、仲間づくりについて体験的に学ぶとともにクラウドを活用した協働的な学習活動のイメージをもつ

《授業の流れ》

1 全体説明

本時の流れについて説明する

2 写真撮影

グループで鴨居中の発見を表す写真を校内で撮影する

3 スライド作成

Classroomで共有されたGoogleスライドでグループごとに発表スライドを作成する

4 発表

グループごとにスライドを提示して発表する。
職員室にいる先生はGoogle Meetでリモート参加する

8月26日 校内研修共有スライド

仲良し・8月26日

テーマ「鴨居中の〇〇を発見から新たな問いを生み出す！」
鴨居中の先生方で、チームを作り「鴨居中学校の魅力を伝える」
本や論文で出会えない情報に接する機会を増やし、どんな発見があるか！
①場所を撮影する
②主観のシートでまとめ、
③共有作業できる。

ICT活用校内研修会（8月26日）
Google スライド

